

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2024年7月12日
【四半期会計期間】	第110期第2四半期（自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）
【会社名】	川上塗料株式会社
【英訳名】	KAWAKAMI PAINT MFG.CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西村 聡一
【本店の所在の場所】	兵庫県尼崎市塚口本町2丁目41番1号
【電話番号】	(06)6421-6325 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経理本部長 松下 田佳子
【最寄りの連絡場所】	兵庫県尼崎市塚口本町2丁目41番1号
【電話番号】	(06)6421-6325 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経理本部長 松下 田佳子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第109期 第2四半期連結 累計期間	第110期 第2四半期連結 累計期間	第109期
会計期間	自2022年 12月1日 至2023年 5月31日	自2023年 12月1日 至2024年 5月31日	自2022年 12月1日 至2023年 11月30日
売上高 (千円)	2,934,448	2,913,709	6,142,590
経常利益 (千円)	101,475	83,214	238,865
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	76,729	58,779	203,003
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	140,225	208,629	362,351
純資産額 (千円)	2,833,333	3,234,124	3,055,414
総資産額 (千円)	8,213,774	8,349,131	8,344,352
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	77.07	59.04	203.89
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	34.49	38.74	36.62
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	67,680	49,861	165,672
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	53,054	110,364	242,758
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	174,605	191,764	62,702
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	2,232,011	1,935,686	1,903,369

回次	第109期 第2四半期連結 会計期間	第110期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2023年 3月1日 至2023年 5月31日	自2024年 3月1日 至2024年 5月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	45.17	24.80

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載いたしました「事業等のリスク」について、重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### (経営成績の分析)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、ウクライナ情勢の長期化・中東情勢の緊迫化や急激な円安等による原材料価格・エネルギー価格の上昇、物価高・実質賃金の減少による個人消費の低迷など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、中期経営計画に基づいて企業価値向上に向けた重点施策に取り組んでおり、設備投資につきましては、千葉工場において計画しておりました粉体塗料工場建屋の新設及び生産設備の導入が予定通り2024年5月に完了いたしました。さらに粉体塗料生産設備については追加投資も計画中であり、粉体塗料の生産力増強を図っております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、海外景気の減速や物価高による個人消費の停滞により、主要顧客製品の需要が低迷し、売上高は2,913百万円（前年同期比0.7%減）となりました。利益につきましては、原材料価格や運送費など諸経費の増加が続いており、価格改定を進めましたが、経常利益は83百万円（前年同期比18.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は58百万円（前年同期比23.4%減）となりました。

なお、当社グループは、塗料の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。

##### (財政状態の分析)

##### (資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ投資有価証券が206百万円、建物及び構築物が174百万円それぞれ増加し、電子記録債権が157百万円、建設仮勘定が147百万円それぞれ減少したこと等により、8,349百万円（前連結会計年度末比4百万円増）となりました。

##### (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が211百万円、電子記録債務が64百万円それぞれ減少し、短期借入金が186百万円増加したこと等により、5,115百万円（前連結会計年度末比173百万円減）となりました。

##### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べその他有価証券評価差額金が145百万円、利益剰余金が28百万円それぞれ増加したこと等により3,234百万円（前連結会計年度末比178百万円増）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,935百万円（前年同期末残高2,232百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は49百万円（前年同期は67百万円の増加）となりました。これは主に仕入債務の減少額276百万円、退職給付に係る負債の減少額34百万円、売上債権の減少額279百万円等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は110百万円（前年同期は53百万円の減少）となりました。これは主に生産設備の維持更新のための有形固定資産の取得による支出114百万円等によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は191百万円（前年同期は174百万円の増加）となりました。これは主に長期借入れによる収入300百万円、長期借入金の返済による支出257百万円、短期借入金の純増額180百万円等によるものであります。

( 3 ) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第 2 四半期連結累計期間において、優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

( 4 ) 株式会社の支配に関する基本方針

当第 2 四半期連結累計期間において、株式会社の支配に関する基本方針について重要な変更はありません。

( 5 ) 研究開発活動

当第 2 四半期連結累計期間の研究開発費の総額は129百万円であります。

なお、当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

また、研究開発による新製品は、次のとおりであります。

- ・「粉体塗料組成物」に関する特許権を取得
- ・脱膜性を有する潤滑性に優れたステンレス鋼板用クリヤー塗料を開発

( 6 ) 資本の財源及び資金の流動性

運転資金需要の主なものは、原材料・部品等の購入費用、製造経費、研究開発費、販売費及び一般管理費等の営業費用であります。投資を目的とした資金需要は、設備投資等であります。

当社グループは、事業運営上必要な流動性と資金の源泉を安定的に確保することを基本方針としております。

短期運転資金は金融機関からの短期借入を、設備投資や長期運転資金の調達につきましては金融機関からの長期借入を基本としております。

( 7 ) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設のうち、当第 2 四半期連結累計期間において完成したものは次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	設備の内容	投資総額 (百万円)	資金調達 方法	完成年月
川上塗料(株)	千葉工場 (千葉県市原市)	粉体塗料 工場建屋及び 生産設備	305	自己資金	2024年 5月

3 【経営上の重要な契約等】

当第 2 四半期連結会計期間において、新たに決定又は締結した経営上の重要な契約等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2024年5月31日)	提出日現在発行数(株) (2024年7月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,000,000	1,000,000	東京証券取引所 スタンダード市場 名古屋証券取引所 メイン市場	単元株式数 100株
計	1,000,000	1,000,000	-	-

(注) 当社株式は、2024年6月13日付で名古屋証券取引所メイン市場に重複上場いたしました。

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2024年3月1日～ 2024年5月31日	-	1,000,000	-	500,000	-	41,095

(5) 【大株主の状況】

2024年5月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)サイブリッジ	東京都中央区日本橋室町1丁目13-1 DKノア4階	155	15.60
川上塗料共栄会	兵庫県尼崎市塚口本町2丁目41-1	73	7.42
三井物産(株)	東京都千代田区大手町1丁目2-1	60	6.03
(株)日本カストディ銀行(三井住友信託銀行再信託分・三井化学(株)退職給付信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-12	57	5.72
(株)東広	東京都渋谷区大山町24-13	48	4.82
(株)カクカ	東京都渋谷区大山町24-13	40	4.08
川上塗料従業員持株会	兵庫県尼崎市塚口本町2丁目41-1	39	3.98
みずほ信託銀行(株)	東京都千代田区丸の内1丁目3-3	26	2.61
住友生命保険相互会社	東京都中央区八重洲2丁目2-1	22	2.26
楽天証券(株)	東京都港区南青山2丁目6-21	22	2.25
計	-	545	54.76

- (注) 1. は当社の取引先持株会であります。  
 2. 所有株式数は千株未満を切り捨てて記載しております。  
 3. 株式会社サイブリッジはDXエンゲージメントパートナーズ合同会社から商号変更しております。また、2024年2月9日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、住所が「東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5」に変更されておりますが、2024年5月31日現在の株主名簿に従い記載しております。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2024年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(普通株式) 6,700	-	-
完全議決権株式(その他)	(普通株式) 989,400	9,894	-
単元未満株式	(普通株式) 3,900	-	-
発行済株式総数	1,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,894	-

【自己株式等】

2024年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
川上塗料(株)	兵庫県尼崎市塚口本町2丁目41-1	3,300	-	3,300	0.33
(株)友進商会	大阪府守口市大庭町2丁目8-24	-	3,400	3,400	0.34
計	-	3,300	3,400	6,700	0.67

(注) (株)友進商会は当社の取引先持株会である川上塗料共栄会(兵庫県尼崎市塚口本町2丁目41-1)の会員であり、川上塗料共栄会名義で所有しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2024年3月1日から2024年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2023年12月1日から2024年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,903,369	1,935,686
受取手形及び売掛金	1,179,148	1,057,383
電子記録債権	1,272,577	1,114,759
商品及び製品	861,535	843,848
仕掛品	40,276	34,466
原材料及び貯蔵品	400,708	386,610
その他	20,586	41,370
流動資産合計	5,678,203	5,414,126
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	319,955	494,174
機械装置及び運搬具(純額)	166,478	283,036
土地	757,697	757,697
建設仮勘定	162,000	14,940
その他(純額)	83,264	78,534
有形固定資産合計	1,489,396	1,628,383
無形固定資産	21,671	18,127
投資その他の資産		
投資有価証券	1,054,574	1,261,396
その他	100,506	27,098
投資その他の資産合計	1,155,081	1,288,494
固定資産合計	2,666,148	2,935,005
資産合計	8,344,352	8,349,131

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,238,871	1,026,927
電子記録債務	792,430	727,607
短期借入金	1,029,892	1,216,748
未払法人税等	44,448	6,607
その他	443,196	388,408
流動負債合計	3,548,839	3,366,298
固定負債		
長期借入金	826,915	862,068
退職給付に係る負債	822,017	781,242
その他	91,166	105,398
固定負債合計	1,740,098	1,748,708
負債合計	5,288,937	5,115,006
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	41,095	41,095
利益剰余金	1,956,398	1,985,278
自己株式	8,956	8,975
株主資本合計	2,488,537	2,517,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	583,680	729,308
退職給付に係る調整累計額	16,803	12,581
その他の包括利益累計額合計	566,877	716,726
純資産合計	3,055,414	3,234,124
負債純資産合計	8,344,352	8,349,131

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2022年12月 1 日 至 2023年 5月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2023年12月 1 日 至 2024年 5月31日)
売上高	2,934,448	2,913,709
売上原価	2,409,588	2,383,012
売上総利益	524,859	530,697
販売費及び一般管理費	446,442	472,247
営業利益	78,416	58,450
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	14,504	16,768
持分法による投資利益	1,363	2,373
技術権利料	8,530	6,854
その他	3,810	3,508
営業外収益合計	28,216	29,510
営業外費用		
支払利息	4,096	4,577
その他	1,061	168
営業外費用合計	5,157	4,745
経常利益	101,475	83,214
税金等調整前四半期純利益	101,475	83,214
法人税、住民税及び事業税	26,156	1,331
法人税等調整額	1,410	23,103
法人税等合計	24,746	24,435
四半期純利益	76,729	58,779
親会社株主に帰属する四半期純利益	76,729	58,779

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	76,729	58,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,473	145,627
退職給付に係る調整額	4,022	4,221
その他の包括利益合計	63,496	149,849
四半期包括利益	140,225	208,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140,225	208,629
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	101,475	83,214
減価償却費	56,760	58,364
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	13,077	34,692
受取利息及び受取配当金	14,512	16,773
支払利息	4,096	4,577
為替差損益(は益)	578	782
持分法による投資損益(は益)	1,363	2,373
売上債権の増減額(は増加)	149,931	279,583
棚卸資産の増減額(は増加)	137,938	37,595
仕入債務の増減額(は減少)	62,542	276,766
その他	36,492	155,804
小計	71,913	23,858
利息及び配当金の受取額	14,512	16,773
利息の支払額	4,121	4,753
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	14,623	38,022
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,680	49,861
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	48,950	114,518
無形固定資産の取得による支出	3,737	400
投資有価証券の取得による支出	180	180
その他	185	4,733
投資活動によるキャッシュ・フロー	53,054	110,364
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000	180,000
長期借入れによる収入	350,000	300,000
長期借入金の返済による支出	250,415	257,991
配当金の支払額	24,917	29,899
その他	62	345
財務活動によるキャッシュ・フロー	174,605	191,764
現金及び現金同等物に係る換算差額	568	779
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	189,799	32,317
現金及び現金同等物の期首残高	2,042,211	1,903,369
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,232,011	1,935,686

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

三井物産ケミカル(株)の売掛債権に対する保証額であります。

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
	20,232千円	16,548千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年12月1日 至2024年5月31日)
従業員給料及び手当	122,217千円	129,773千円
運賃及び荷造費	75,057	80,360
退職給付費用	12,247	12,057

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年12月1日 至2024年5月31日)
現金及び預金	2,232,011千円	1,935,686千円
現金及び現金同等物	2,232,011	1,935,686

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2022年12月1日至2023年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年2月17日 定時株主総会	普通株式	24,917	25	2022年11月30日	2023年2月20日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自2023年12月1日至2024年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年2月22日 定時株主総会	普通株式	29,899	30	2023年11月30日	2024年2月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2022年12月1日至2023年5月31日)

当社グループは、塗料の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自2023年12月1日至2024年5月31日)

当社グループは、塗料の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
合成樹脂塗料	2,709,237	2,698,111
油性塗料	1,128	1,072
ラッカー	13,049	10,348
塗料希釈剤	152,858	151,914
関連製品	12,003	11,467
その他	46,169	40,796
顧客との契約から生じる収益	2,934,448	2,913,709
その他の収益	-	-
外部顧客への売上高	2,934,448	2,913,709

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
1株当たり四半期純利益	77円07銭	59円04銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	76,729	58,779
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	76,729	58,779
普通株式の期中平均株式数(株)	995,644	995,601

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2024年7月12日

川上塗料株式会社  
取締役会 御中

仰星監査法人  
大阪事務所

指 定 社 員 公認会計士 許 仁 九  
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公認会計士 平 塚 博 路  
業 務 執 行 社 員

### 監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている川上塗料株式会社の2023年12月1日から2024年11月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2024年3月1日から2024年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2023年12月1日から2024年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、川上塗料株式会社及び連結子会社の2024年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

### 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において

四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記の四半期レビュー報告書の原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。